

令和5年度第1回下野市行政改革推進委員会 議事録

- 審議会等名 令和5年度 第1回下野市行政改革推進委員会
- 日 時 令和5年7月28日（金）午後2時00分から3時30分まで
- 場 所 下野市役所 2階 203会議室
- 出席委員 中村祐司会長、野田善一委員、金田幸子委員、柳澤正弘委員、川俣一由委員、小林政則委員、平井勲委員、中西稔委員、太田芳一委員、高橋志津子委員
- 欠席委員 なし
- 市側出席者 坂村哲也市長、伊澤巳佐雄総合政策部長、倉井和行総務部長、直井満市民生活部長、福田充男健康福祉部長、栃本邦憲産業振興部長、保沢明建設水道部長、近藤善昭教育次長、五月女治議会事務局長、黒川信夫会計管理者
(事務局) 米井正和総合政策課長、北野和利課長補佐、高橋一巳主事
- 公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)
- 傍聴者 なし
- 報道機関 なし
- 議事録作成年月日 令和5年8月1日

○次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付（交付後自己紹介）
- 3 市長あいさつ
- 4 会長選任
- 5 会長あいさつ
- 6 議 事
 - (1) 下野市行政改革推進委員会の概要及びスケジュールについて
 - (2) 第四次下野市行政改革大綱実施計画令和4年度進捗状況報告書について
 - (3) その他
- 7 閉 会

○記録

1 開 会

(事務局) ただ今より、令和5年度 第1回下野市行政改革推進委員会を開会します。

2 委嘱状交付（交付後自己紹介）

(事務局) 初めに、坂村市長より委嘱状を交付いたします。
委員を代表いただきまして、名簿の一番上に記載の中村委員に委嘱

状を交付させていただきます。

【委嘱状交付】

ありがとうございました。

他の委員の委嘱状については、お手元の封筒に入れてございますので、ご確認ください。

本日は、改選後初めての審議会となりますので、ここで、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思います。

(委員一同)

【順番に自己紹介】

3 市長あいさつ

(事務局)

それでは開会にあたりまして、坂村市長よりご挨拶申し上げます。

(市長)

ご多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。

今年度は、委員の方々が再選定される節目のタイミングとなります。新しいメンバーのもと、市の行政改革や事業展開について、昨年までとはまた違った観点からの意見等を頂ければと思います。

私としては昨年度に市長に就任し、第5回委員会に参加いたしましたが、福祉、街づくり等の幅広い分野に話が波及し、活発なご意見が出るのを目の当たりにし、委員の方々の下野市に対する思いの強さに感銘いたしました。

この会議で頂いたご意見は、市政に強く反映されるものです。委員の皆様においては、様々な視点から御意見をいただけますと幸いです。

本日の会議においては、行政改革大綱実施計画の進捗状況報告が主題となります。各部局の部長級職員も同席させていただいておりますので、ご不明な点などありましたら、直接担当部局から回答させていただきます。

ぜひ忌憚の無いご意見をいただけますと幸いです。

(事務局)

ありがとうございました。

4 会長選任

(事務局)

次に、会長選任に移らせていただきます。

会長の選任にあたりましては、下野市行政改革推進委員会条例第5条において、「委員会に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定されております。

ここでは、坂村市長に仮議長を務めていただき、会長の選任について、議事を進行いただきます。

(市長)

それでは、会長が決まるまでの間、私の方で進行を務めさせていただきます。ご協力お願いいたします。

会長の選任ですが、先ほど司会からも説明があった通り、委員の中から選任することとなっております。

- 意見を伺いたいと思いますので、委員の皆様からご発言願います。
- (川俣委員) 宇都宮大学教授の中村委員にお願いしたく思います。
- (坂村市長) ただいま、川俣委員より宇都宮大学教授の中村委員の推薦がありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。
- (委員一同) 異議なし
- (坂村市長) ありがとうございます。
- ただいま、皆様からの同意を頂きましたので、会長は中村委員にお願いしたいと思います。
- また、下野市行政改革推進委員会条例第5条第3項の規定に基づき、会長職務代理者について、中村会長よりご指名をお願いいたします。
- (中村会長) 職務代理者は、川俣委員にお願いしたいと思います。
- (川俣委員) 承知いたしました。
- (坂村市長) それでは、会長の選任、職務代理者の指名が完了しましたので、私はここで、議長の任を解かせていただきます。
- (事務局) ありがとうございます。

5 会長あいさつ

- (事務局) ここで、中村会長よりご挨拶を頂きたいと思います。
- (中村会長) この下野市行政改革推進委員は、最終的に市民評価報告書として書類を作成し、市に提出する役割があります。それは他の審議会にはないもので、それゆえに、この委員会の委員は非常に重みのある役割であると感じています。
- また、その報告書には委員の個々の意見が強く反映しますし、昨年度にあっては、報告書作成までには非常に活発な議論が交わされました。
- 先ほど市長から「委員会からの意見が市政に強く反映している」との御発言がありましたが、それは委員として、非常にうれしく思います。
- また、本日の会議には市政を支える各部局の部長の方々がご参加いただいています。直接意見を交換いただける場を設けてくださっていることは、本当にありがたいことでもあります。
- また、この下野市行政改革推進委員会は年5回の開催となりますが、この段階でスケジュールリングが完了していることに市としての意気込みを感じますし、会長を仰せつかった者として、身が引き締まる思いです。
- 最近外に出るのも億劫なほど暑いですが、こうして皆さんと顔を合わせて議論を交わせることをうれしく思います。
- 会長として精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしく願いいた

します。

(事務局) 中村会長、ありがとうございます。

なお、ここで、坂村市長につきましては、公務により退出させていただきます。

(坂村市長) 【退出】

6 議 事

(事務局) 次に、議事に入らせていただく前に、本日は、庁内組織である行政改革推進本部より関係部長が出席しております。事務局と併せて、自己紹介させていただきます。

(本部長・事務局) 【順に自己紹介】

(事務局) それでは、議事に入りたいと思います。

下野市行政改革推進委員会条例第6条にて、「委員会の会議は、会長が招集し、議長となる」と規定されておりますので、以後の議事進行につきましては、中村会長にお願いしたいと思います。

(中村会長) それでは、まず初めに、会議成立確認、会議録署名についてお諮りします。

本日の欠席委員は0名です。委員数10名のうち、過半数以上の委員が出席していますので、下野市行政改革推進委員会条例第6条第2項の規定により、会議は成立となります。

傍聴者はありません。

次に、今回の会議録署名委員を指名いたします。名簿順により、野田委員、金田委員にお願いいたします。

署名委員の方は、次回の会議において、事務局が作成した本日の会議録へ署名していただくこととなりますので、よろしくお願ひします。

(1) 下野市行政改革推進委員会の概要及びスケジュールについて

(中村会長) それではまず議題の(1)「下野市行政改革推進委員会の概要及びスケジュールについて」事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 【資料1-1、資料1-2に沿って説明】

(中村会長) この委員会の業務として、行政改革と行政評価二つの柱があるという説明がありました。今回第1回は行政改革に関する内容ですが、次回第2回以降は行政評価に関する内容が中心となります。

11月以降は会議が立て込んで忙しくなりますが、下野市においては、評価対象事業も委員が選ぶことができるということで、非常に丁寧に対応してください。

この後の議題2は行政改革に関する内容ですが、ぜひ皆さんから積極的なご意見を頂きたいと思います。

(2) 第四次下野市行政改革大綱実施計画令和4年度進捗状況報告書について

- (中村会長) 次に議題の(2)「第四次下野市行政改革大綱実施計画令和4年度進捗状況報告書について」事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 【資料2に沿って説明】
- (中村会長) 事務局から説明がありました。
本日は部長級職員の方々に同席していただいておりますので、進捗状況報告書について、直接、御意見を交換いただくことができます。貴重な機会ですので、質問やご意見などありましたらお願いします。
- (中村会長) では、まずは私からお伺いします。報告書に記載されている項目とは別になりますが、マイナンバーについてです。
全国的にマイナンバーカードと健康保険証の紐付けミスが発生したことを踏まえて、政府は、総点検を実施する意向を明らかにしています。
下野市においては、総点検の実施についてどのような計画していますか、また、どの程度の業務量を想定していますか。
- (事務局) 総点検を実施する旨は通知されていますが、その具体的な取り組みについてはまだ示されていないため、体制構築の検討にとどまっています。
今後、県や国の動きに応じて、市としての具体的な対応を決定することとなります。
- (中村会長) 先ほどの事務局からの説明で大松山運動公園の指定管理者制度導入検討についても話がありましたが、この会議での意見が即時反映し、今年度の見直しに動いてくれているということで、昨年度に委員を務めた身としては非常にありがたく思います。
- (野田委員) P18の「入札制度の合理化と透明化」について伺います。当市の入札制度は、入札額のみならず、行政業務の受注実績や技術者の在籍状況などを数値化し、それをもとに落札者を総合的に判断する総合評価方式を採用しています。
進捗状況報告書には、結果をHPで公開することで透明性を確保し、また、電子入札により事務が効率化されていると記述されていますが、一方で、透明性が高いといいつつも、本市の入札率は90%を超えている状況であります。
また、商工会として日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金(通称「マル経融資」)の仲介を行っていますが、その過程で、本市の格付けでCランクの事業者の収支に関する書類を見たときに、一定の売り上げがあるにも関わらず、利益が少ないという状況が見られます。
すなわちそれは、業務量に対して報酬が少ないことから、うまく利

益が確保できていないのではないかと推察できます。

現時点での市の管理体制では、そういった状況を確認することができていないと思われます。

市として、何か考えはございますか。

(総務部長)

まずは落札率についてですが、委員のおっしゃる通り、90～98%の案件が多数を占めています。

入札の透明性の確保についてですが、半年に一度、入札適正化委員会を開催し、そこに入札を行ったすべての工事を付議しています。例えば落札率が高かった工事については、その原因について委員から意見を頂くなどして検証しています。

委員会での御意見を受けて日々改善に努めており、市としては引き続き、入札の適正な実施及び透明性の維持、向上に努めていきたいと考えています。

(川俣委員)

P10「生涯学習による協働のまちづくりの推進」について伺います。毎年3月頃、生涯学習情報誌エールが発行されています。それを、自治会長を通じて全戸配布していますが、1冊がかなりの厚みがあり、また行政カレンダーと同時期に配布となるため、自治会長は配布に大変苦勞しています。

例えば半年ずつに分けて発行することで厚みを減らしたり、全戸配布するのではなく、希望する人に対して配布するなど、工夫することはできないでしょうか。

(教育次長)

自治会長の皆様においては、日々ご協力いただき感謝申し上げます。

生涯学習情報誌エールについては、多くの情報を多くの方に届けたいという意向から現在のような扱いをしていますが、川俣委員からの御意見を受け、今後の配布にあっては、自治会長の負担を軽減しつつ、必要な情報が必要とされている方に届くように、対応を検討いたします。

(中村委員)

P39「庁内文書電子化と電子決裁の推進」、P40「文書管理の効率化」について伺います。下野市においてはどのような進捗でしょうか。

(総務部長)

まず文書の管理についてですが、紙の文書は市内7か所の倉庫で保管しており、どの倉庫にどの文書が保存されているかをシステムにより管理しています。

本格的な文書の電子化については、今後、進めていくこととなります。

(総合政策部長)

庁内文書電子化についてですが、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一貫として、資料のペーパーレスを進めています。

P42「タブレットを活用した議会 ICT 化の推進」に記載の通り、すで

に議会ではタブレットを導入し、ペーパーレス化を推進しております。市内部においては今後、議会や庁内会議用にタブレットを導入することでペーパーレス化を図ってまいります。

また、会議用とは別に、出先（現場）で工事用の図面を閲覧する等の目的のためにタブレットを導入する意向で進めているほか、税務課では、従来は紙で管理していた土地台帳の電子化が完了している状況です。

(金田委員) P26 の「大松山運動公園における指定管理者制度導入などの検討」について伺います。

プールの扱いや体育館の改修なども含め、施設全般における今後の活用方針はどのように計画されていますか。

(教育次長) 大松山運動公園にあつては、民間活力の導入ということで、施設の改修も含めた指定管理制度の導入を検討していたところですが、委託料が高額である等の意見を受けて、再度、庁内検討委員会で検討することとしました。

今後の具体的な整備の計画については未定で、今後、検討委員会で協議して参ります。

(中村委員) 先ほども申し上げた通り、第2回目以降の会議は行政評価を中心にして進みますが、その過程で行政改革の観点での意見があれば、随時、頂ければと思います。

(野田委員) 報告書に記載されている内容からは外れますが、先日、市内を車で走行中に、工事の準備をしている道路を見つけました。

ですが、私としては路面状況が悪いとは思えず、舗装工事の必要性について疑問を感じました。工事箇所の選定にあつては、どのような基準で判断されているのでしょうか。

(建設水道部長) 現在、幹線道路の舗装長寿命化を進めています。実施にあつては道路の亀裂状況等を調査し、それをもとに優先順位を設定しています。

おそらく野田委員がおっしゃっているところは幹線道路で、調査の結果、優先順位が高いと評価された箇所と思われます。

(中村会長) ありがとうございます。

それでは、先に進みます。

(3) その他

(中村会長) 次に、「その他」についてですが、事務局から何かあればお願いします。

(事務局) 本日の議事録については、作成でき次第、郵送にて送付させていただきますので、内容をご確認いただき、訂正等については、同封させていただき返信用封筒で報告をお願いいたします。

次回会議において確認のうえ確定し、本日指名されました署名委員の方には、会議終了後に署名をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

(中村会長)

事務局から議事録についての説明がありました。

その他、各委員より質問等がありましたらお願いします。

(平井委員)

下野市では、下野市ファミリー運動の一環として、会議の最初と最後に立って挨拶をすることを推奨していたかと思しますので、この会議においても実施すべきと思います。

(中村会長)

大変失礼いたしました。この会議でも採用したいと思います。

(事務局)

今後、会議のはじめと終わりには立って挨拶することとしたいと思います。

(中村会長)

確認ですが、次回以降も、例えば行政改革に関する部分で気づいたことがあれば、事務局に直接ご意見を伝えてもよろしいでしょうか。

(事務局)

問題ございません。ぜひ、よろしくお願いいたします。

(中村会長)

ありがとうございます。

では以上で議事は終了といたしまして、進行を事務局にお返しします。

7 閉 会

(事務局)

中村会長、議事進行ありがとうございました。

本日、皆様からいただきましたご意見は、今後の事務事業及び行政改革の推進に生かして参りたいと思います。

それでは、ご起立ください。

以上で、令和5年度第1回下野市行政改革推進委員会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

中村 祐司

署名委員

野田 善一

署名委員

金田 幸子